

2年B組 TOEIC 体験団体受験

これからの理工系技術者にとって、英語は必須の素養です。専門知識は当然として、英語ができることで世界が大きく広がります。彼・彼女らは、これまでいろいろな機会ですう話を耳にしてきました。でもそれを本当に実感しているかどうかと観察していると、行動を伴うところまではなかなか行かないようです。

いうまでも無く、英語の学習は若ければ若いほど速く上達できます。卒業してから4年かかるなら、20歳で始めればたぶん2年ほどで同じレベルまで到達できます。ということで、まずは自分の実力を知ること、そして学習の成果を数字で確かめながらモチベーションを上げること、この二つを実現する方法として、今回、後援会のご支援をいただきながら、2年生となったB組全員でTOEICの団体受験（大学生協が主催するカレッジTOEIC）に挑戦することになりました。

はじめは、何人参加してくれるだろうかと不安でしたが、ふたを開けてみたら、なんとほとんど全員が参加してくれました。第1期生の意気込みをこんなところでも感じることが



でき、とても嬉しい状況です。写真は、来週10月18日の本番に向けて模試に取り組んでいるB組の諸君です。この日は、リーディング・パートに挑戦です。

一部上場企業が4年制理工系新入社員に求める

TOEICの点数は約500点とされています。でも、役に立つ英語となるには、さらに上を目指す必要があります。これを機会に、是非卒業までに、「使える英語」を身につけて欲しいと思います。

(2年B組クラスアドバイザー 高橋隆行)